

来・ぶらり

RYUKOKU UNIVERSITY LIBRARY NEWS

龍谷大学
図書館報

No.64

<https://library.ryukoku.ac.jp>

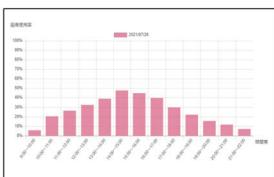
CONTENTS

- 01 卷頭言
- 02 龍大生のお薦め本
- 04 「たった1字」をめぐる冒険
- 05 大型図書の紹介
- 06 大宮図書館展観
「病と生きる」開催について
- 07 図書館 Web サイトが新しくなりました
- 08 英語多読学習

TOPICS

館内混雑状況の「見える化」

新型コロナ対策の一環として、2021年3月下旬から館内の混雑状況を数値化し、リアルタイムで図書館ホームページから発信しています。また過去の混雑状況もグラフ化して提供しています。これを見れば「今なら空いていそう」「○曜日が比較的空いている」ということが直ぐに判ります。コロナ禍の中での図書館利用の判断に活用していただければと思います。



図書館では入退館の際に学生証をゲートで読み取っています。駅の自動改札と同じですね。このデータを分析することにより、滞在時間はどのくらい、利用者の多い時間帯は、図書館に一度も来たことが無い学生は何人いるのか、など利用者の皆さんの動向が判り、図書館運営に役立てています。館内混雑状況の「見える化」も入館者数から退館者数を差引けば、館内に滞在している利用者数が簡単に計算できます。それをシステム化して、自動的に発信しているのです。



データベースの ありがたさと「龍谷蔵」

文学部教授

安井 重雄

コロナ禍の中で一年半が経過し、大学の授業はオンラインの活用が必須となった。今後、コロナが収束したとしても対面授業と併用しながら活用していくのだろう。そのような中、授業でデータベースを活用する頻度はぐっと上がった。学習・研究支援のために本学図書館で契約している多くのデータベースはありがたく、古典文学の授業では特に「Japan Knowledge」と「日本文学 Web 図書館」にお世話になっている。昨年前半、大学への入構禁止の中、学生たちが基礎演習や演習の資料が作成できたのもこれらのデータベースがあつてこそである。年が押しつまり、卒論の提出期限が意識に上る頃になると、10 IDの「Japan Knowledge」に入れないとあった。

本学図書館のホームページから活用できるデータベースで、他にもありがたいのが「龍谷蔵 貴重資料画像データベース」である。本学所蔵の古典籍を精緻な画像で見ることができる。今年度は写本を読む授業を担当したことあって、「龍谷蔵」から検索して国宝『類聚古集』を画面に映しながら話をしたところ、受講生から manaba のアンケートに「その国宝が私たちが通っている龍谷大学大宮図書館に所蔵されていることが誇らしかったです」と感想が返ってきて、龍大教員として今までうれしくなった。学生のみなさんには、ぜひ「龍谷蔵」を検索して、本学の貴重な古典籍を見てほしい。くずし字が読めなくても楽しむことができる。

私が本学の学生だった頃、1980年代はまだおおらかな時代で、研究室図書（各学科専攻予算で購入した図書だった）が別置されており、それらは和本であっても図書館設置のコピー機で複写できた。写字台文庫のラベルが貼られた本も、貴重書以外は学生でもすぐに閲覧できた。古典籍の保存や修復に専門的な技術や知識が必要という認識が共有される現代ではもうあり得ないことだが、当時の学生や院生にとっては特別な意識もなく生（なま）の古典籍に触れられる幸運な時代だった。そのようにしてわかったことは文学史に名前がない何だかわからないけれど面白い本がウチの図書館にはたくさんあるということだ。今、それらの一部は「龍谷蔵」で見ることができる。コロナ禍の中、一度自宅からでも眺めてみてほしい。



龍大生の お薦め本★★★

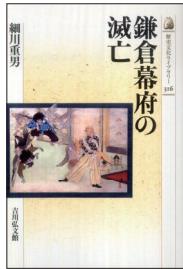
『鎌倉幕府の滅亡』

細川重男 [著] 吉川弘文館 2011年

鎌倉幕府の滅亡の原因としては、悪党の跳梁、元寇における恩賞問題、御家人の窮屈化、得宗を頂点とする北条氏・幕府の専制化、北条高時の暗愚さ、などが從来から指摘されています。著者は近年の研究動向を踏まえながら、これらの説に疑問を呈し、「鎌倉殿の前での平等」を原則としていた、御家人制の変質から幕府の滅亡の原因を明らかにしようと試みます。

本書では、幕府の政治・訴訟制度の整備過程での副産物として、評定衆等の中央要職を世襲・独占する「特権的支配層」が成立したこと、後期幕府が彼らの「合議」によって運営されていった事に注目します。鎌倉幕府において、理想視されやすい「合議」を相対化した点が、本書の大きな特徴です。難解な鎌倉幕府政治史を、読みやすい文章で解説した良書ですので、是非一度、お手に取ってみてください。

文学研究科修士課程2年生 荒木 洋太朗



深草図書館。
深草和顔館開架
210.1/ レキシ/316
資料番号 110105009518
大宮図書館
大宮.2F 開架図書
081/REK/316
資料番号 21105002067
瀬田図書館
瀬田. 本館 B1 開架
210.08/ レキシ/316
資料番号 31105002754

『死とともに生きることを学ぶ： 死すべきものたちの哲学』

竹之内裕文 [著] ポラーノ出版 2019年

命あるものは、必ず死を迎える。それがいつなのか分からぬ間に死んでしまう私たちは、ただ漠然と生きている。

本書では、身近な人の死から「死すべき定めをどのように引き受け、生きたらよいのか」について考え、幼い子どもから終末期医療の緩和ケアまで様々な場面において生きることを学んできた。また、筋ジストロフィー症の重度障害者の友人の死から「共に生きること」と「本当に生きること」の双方を学び、人は、他者とともに生きているのだと実感した。日本では、他諸国と異なり「死」をタブー視してきた。

確かに、死生観について様々な考え方があるが、ただどの人も「命」は、一度きりしかない。命に限りがあるからこそ、「今、この瞬間を精一杯生きる意味がある」のではないかと考えさせられた。この本とともに自分が考える「生きること」について考えてみませんか。

経済学部3年生 高木 雄太



深草図書館
深草. 和顔館開架
490.15/ タヒン
資料番号 12105003444

『手紙』

東野圭吾 [著] 文藝春秋 2006年
東野圭吾 [著] 每日新聞社 2003年

家族の誰かがもし犯罪に手を染めてしまったら。この小説で描かれているのは犯罪者とその弟の話です。

主人公の直貴のもとには、月に一度、獄中から手紙が届きます。強盗殺人の罪で服役している兄からの手紙です。また、進学・就職・恋愛と、直貴が人生の転機を迎えるときにはいつも「強盗殺人犯の弟」という烙印がつきまといます。読み進めていくと、自分にとって都合の悪いことには関わりたくないという、人間の生々しい部分が表現されることにも気づきます。厳しい環境の中でも、強く、もがきながら生きていく主人公・直貴の姿はさまざまことを教えてくれ、私自身この『手紙』を読み、価値観が大きく変わりました。

ひとりでも多くの方がこの本を手にされ、世の中にはこのような立場の人人がいるのだということを考えもらいたいです。

経営学部4年生 谷口 稲弥



大宮図書館
大宮. 2F 学生選書コーナー
081/2012/119
資料番号 21210002003



瀬田図書館
瀬田. 本館 B1 開架
913.6/ ヒケテ
資料番号 30800010201

『働かないアリに意義がある』

長谷川英祐 [著] メディアファクトリー 2010年

みなさんはアリは働き者だと思いますか？ 実は地下にある巣の中の7割の働きアリが何もしていません。理由は突発的な緊急事態に対応できる余力を残すために体力を温存しているからです。また7割のアリは周囲の忙しさにより働き始めます。本書はアリなどの特殊な集団構成を持つ真社会性生物が、ヒトのように指令塔の上司がおらず巣内の情報共有が行われないにも関わらず巣の運営が円滑に回る理由を分かりやすく明記されています。

本書を通じて、人間社会では考えられないような合理的な行動をアリが行っていることや利他行動を行うアリの行動から、個よりも、群れ全体が機能していくことの大切さやうっかり者やはみ出し者がいるからこそ新たな道を発見することがあり、個性の大切さはアリの世界も同じであることを実感できる一冊です。ぜひ読んでみて下さい。

法学部3年生 野村 理絵



瀬田図書館
瀬田. 本館 2F 開架
481.7/ ハエハ
資料番号 31405079481

『フェアトレードのおかしな真実：僕は本当に良いビジネスを探す旅に出た』

コナー・ウッドマン [著] 松本裕 [訳] 英治出版 2013年

私たちは、良い事をしていると錯覚していませんか。

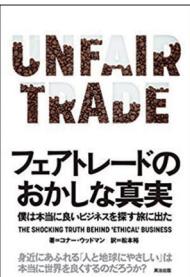
この本は、「フェアトレード」が良い悪いという話ではなく、社会における真実とは何かを考えさせてくれます。

グローバル化によって、生産者と消費者が直接顔を合わせることはまずありません。つまり、どのような手法で生産され、流通し、そして消費されているか、不明です。そのように、商品が公正な取引が行われているのかどうかは知らず、フェアトレードラベルの付いた商品を購入し満足するのです。

これはあくまでも、社会の一つの実情です。この本から、きっと皆さんも、世の中にある「当たり前」に対する見方が変わるはずです。大学では批判的な見方が大切だとよく言われます。それは、この「当たり前」を疑うことから始まるのではないかと思います。

是非、手に取ってみてください。

政策学部4年生 中村 準



深草図書館
深草. 8号館開架図書
678.2/ ウコフ-W
資料番号 11300050568
深草. 和顔館開架
678.2/ ウコフ
資料番号 11305030953

『病が語る日本史』

酒井シヅ [著] 講談社 2008年

昨今、新型コロナウイルスという未知の感染症によって、当たり前の大学生活が送れなくなってしまったり、ワクチン接種の善し悪しを考えたり、と人間関係や価値観が大きく変わった人も多いのではないかでしょうか。感染症や未知の病気というものは古くから起り、日本に限らず、世界各国で猛威を奮ってきました。

本書は、古代からの日本国内での病気や、海外との交流で持ち込まれた病気の記録、そしてそれにどのように考えられ、対応し、世間が変わっていったのかがわかる一冊です。歴史上の有名人が苦しめられた病気や、現在でも死因の上位に入っているガンなど、興味深い様々な項目があり、特にワクチンができるきっかけの牛痘については今までに注目されるべき項目でしょう。ぜひステイホームのお供に、本書を手に取ってみてはいかがでしょうか。

国際学部3年生 西村 美羽



深草図書館
深草・文庫・新書
081/コウタ/1886
資料番号: 10805028380
大宮図書館
大宮・2F 開架図書
081/KOU/1886
資料番号: 20805017322

『ウチら棺桶まで永遠のランウェイ』

kemio [著] KADOKAWA 2019年

ハイテンションで早口な騒がしくてくだらないYoutuber。僕の中でのkemioのイメージでした。そんな人が出した本だし縁もなく、変わったタイトルだなってくらいの印象でした。ですが、ふと手に取る機会がありページをめくると、文章からでも分かる軽快な口調、そんな口調と共に語られる経験とそこから生まれてくる考え方。重いテーマでも分かりやすく、でも軽くなりすぎない。本を読むのが苦手な人も楽しめるよう色使いやレイアウトを変えたり、思わず笑ってしまう言葉だったり、スラスラとページをめくり、あっという間に読み終わってしまいました。

人生や人間関係がうまくいかない時、逃げ出したくなった時にもう一度読み直したい。何か新しいことに挑戦したくなるような、読むと元気になる本です。

先端理工学部3年生 山口 恒大



深草図書館
深草・本館 1F 学生選書(最新)
081/2019/7
資料番号 31900011502



『なぜ人と人は支え合うのか：「障害」から考える』

渡辺一史 [著] 筑摩書房 2018年

みなさんは、「障害者」と聞いて何を思い浮かべますか？施設で暮らす人々、24時間テレビのドラマ、パラリンピックでしょうか？マスメディアでは多くの場合、「かわいそうな障害者」像や「困難に負けず、けなげに努力する障害者」像がアピールされがちです。

この本は、そんな、私たちが何となく持っている障害者像を根底から覆します。

著者は、映画「こんな夜更けにバナナかよ」の原作者で、筋ジストロフィー患者とその自立生活を支えるボランティアスタッフを長年取材され、自立とは何か、支え合うとはどういうことかについて本書を通して深く記されています。

社会学部3年生 佐藤 幸久



深草図書館
深草・本館 1F 開架
369.27/ワカナ
資料番号: 31900003934

『自分で気づかない、ココロの盲点：本当の自分を知る練習問題80』

池谷裕二 [著] 講談社 2016年

皆さんは、自分の脳が騙されていると感じたことはありますか。脳は時々、物事を正確に判断できていないのです。その例として「錯覚」があります。実際そうでは無いのに脳が勝手に間違った判断をしてしまう、言わば脳の「クセ」なのです。

本書では、身近な脳の「クセ」が紹介されており、脳の「クセ」を知ることで自分自身の理解を深めることができます。さらに、相手の判断も正確に理解できれば、無駄な争いやいざこざを減らせるのではないかでしょうか。

では、ここで1つクイズです。アメリカではハリケーンに人名がつけられていますが、男性と女性の名前ではどちらのハリケーンの被害が大きいでしょうか。本書ではこのようなクイズ形式で解説されています。答えを知りたい方はぜひ読んでみてください。あなたの予想は当たっているでしょうか…？

農学部4年生 太田 朝美



深草図書館
深草・文庫・新書
081/フルハ/1953
資料番号: 11500124755
深草図書館
深草・本館 1F 文庫
081/コウタ/1953
資料番号: 31600000568

『どうしても頑張れない人たち』

宮口幸治 [著] 新潮社 2021年

世の中にいる、頑張っていない・怠けているように見える人達。しかしその人達は、恵まれない環境、見通すことのできない認知機能の弱さなどが原因で、頑張り方がわからず苦しんでいるかもしれません。

医療少年院に勤務経験のある児童精神科の著者が「頑張れない理由」また、「そのような人達をどう支援していくべきなのか」を様々なケースを挙げて説明していく「ケーキの切れない非行少年たち」の第二弾。世の中に生きづらさを感じている人に対しての理解が深められると同時に、当事者を正しく理解し、適切な支援を行うことの難しさを考えさせられる一冊です。

短期大学部1年生 高濱 拓実



深草図書館
深草・文庫・新書
081/シンチ/903
資料番号: 12100006140

「たった1字」をめぐる冒険

広く知られている書物であってもよく知られている、とは限らない。

吉川英治（1892～1962）の『三国志』を、その事例として見てみることにしよう。

三国志そのものについて、ここでは多くを語らない。2世紀から3世紀にかけての三国時代を舞台とする歴史物語であり、特に1980年代以降、幾度かのブームを経ながら日本におけるエンターテインメントコンテンツ（小説・漫画・映像コンテンツ・ゲーム等）に定着したことを確認しておけば十分である（筆者なぞはこの三国志ブームの影響をまともに受けたことで研究者になったようなものである）。

そして、吉川英治の小説『三国志』こそは、戦後の三国志ブームの原点である。この作品がなければ、その後の三国志ブームは生まれようがなかった、と断言してもあまり異論は出ないであろう（むろん、その後続作としての横山光輝『三国志』が三国志ブームの直接の起爆剤であったわけではあるが）。

そもそも、この吉川『三国志』、元来は新聞連載小説であった。昭和14年（1939）8月26日連載開始。完結したのは昭和18年（1943）9月のことであった。掲載紙は複数あり、「中外商業新報（現在の日本経済新聞）」や「台湾日日新聞」等が確認できる。

単行本は新聞連載と並行する形で、大日本雄辯会講談社（現在の講談社）から全14巻で刊行された。第1冊の刊行が昭和15年（1940）5月、最終第14巻の刊行は敗戦後の昭和21年（1946）9月のことであった。

吉川『三国志』以前に、日本で三国志が知られていなかったわけではない。早く元禄前期（17世紀末）には歴史小説『三国志演義』の邦訳である『通俗三国志』が出版されているし、明治末年には久保天随（1875～1934）もまた『三国志演義』の邦訳を刊行した。吉川英治自身、自らの『三国志』序で久保天隨訳の愛読者であったことを告白している。

吉川英治自身の語を借りれば、彼の『三国志』は以下のようない存在であった。

原本には『通俗三国志』『三国志演義』その他數種あるが、私はそのいづれの直譯にも依らないで、隨時、長所を擇（と）つて、わたくし流に書いた。

実際に吉川『三国志』を読み進めると、先行する三国志、特に『通俗三国志』の影響が強いことに気づく。しかし、序盤に限っては吉川の創作（オリジナル）がそこかしこに盛り込まれている。

特に印象深いのは、「芙蓉（ふよう）」と称される女性であろう。県の領主の娘であったが、戦乱の最中、県城は焼かれ、不憫に思った老僧に匿わっていたのであった。しかし、その寺にも賊の手が迫る。老僧は同じく寺を頼ってきた青年劉備に芙蓉を託し、劉備は芙蓉とともに賊の手を逃れた。（桃園の巻「白芙蓉」）

その後、旧臣である張飛と再会した芙蓉は一旦、劉備と別れる（同「張飛卒」）。しかし、幾多の糾余曲折を経て再会した2人は互いの恋情に気づいてしまう。だが、天下を救うという大志の前に劉備は己の恋情と訣別し、芙蓉の許（もと）を去るのである（同「岳南の巻」）

佳人」「故園」。

この劉備と芙蓉の

恋物語は、先行する

三国志物語には全く見えず、吉川の創作だと断じてよい。当然、芙蓉もまた吉川による創作人物（オリジナル・キャラクター）である。

しかし、このような吉川の創作は、物語が進むに連れて減ってゆき、吉川『三国志』は実質的に『通俗三国志』の現代日本語訳に変貌する。

その変貌を如何（どう）評価するかは読者次第であろう。本稿では立ち入らない。ただ、作家としての吉川英治の責任感（に見えるもの）についてのみ言及しておこう。吉川は、自らによる創作人物である芙蓉をフェードアウトはさせていない。彼女の運命についてはキチンと言及している。「臣道の巻『大歩す臣道』」に言う。

一夫多妻を傳統の風習としてゐるこの民族の中では、玄徳（竹内註：劉備のこと）の室など、至極さびしいはうであった。

甘夫人は、糜夫人より若い。沛縣のひとで、さう美人といふほどでもない。單に、清楚な婦人である。

美人のおもかけは、むしろ年上の糜夫人のはうに偲ばれる。

それも道理で、もう女の三十路をこえてゐるが、青年玄徳に、はじめて戀ごころを知らしめた女性なのである。

實に今を去る十何年か前。

まだ玄徳が、沓（くつ）を賣り蓆（むしろ）を織つてゐた逆境の時代、黃河のほとりにたつて、洛陽船を待ち、母のみやげにと茶を求めて歸る度の途中、曠野でめぐり逢つた白芙蓉といふ佳人が、いまの糜夫人であった。

五台山の劉恢の家に養はれて、久しう時を待つてゐた彼女は、その後玄徳に迎へられて、室に侍したものであった。

すなわち、吉川による創作人物である芙蓉は、玄徳と（妻妾の人として）結婚していたのである。

実は、この箇所において、吉川英治独自の『三国志』と旧來の『三国志』が融合している。劉備に糜氏という夫人がいたことは『通俗三国志』等にも明記されていることであり、吉川は創作人物である芙蓉をこれと重ね合わせたわけである（その後、彼女は悲劇に見舞われることとなるが本稿では述べない）。

さて、（怖ろしいことに）ここからが本題である。

一夫多妻と言っても、複数の妻それぞれが対等な関係にはない。正式な妻（正室）はただ1人であり、その他はすべて側室である。

劉備の場合、甘夫人と糜夫人、どちらかが正室でどちらかが側室ということになる。しかし、『通俗三国志』にせよ『三国志演義』にせよ、2人のどちらが正室であるかは判然としない（糜夫人の死後は、甘夫人が正室扱いなのは間違いないが、1人しかいないので当然ではある）。

これに対し、吉川英治は以下のように断定する。

番兵が秘扇をひらいて、彼（竹内註：関羽のこと）を簾外にいざなふと、玄徳の妻室糜夫人と、側室の甘夫人は、

『オ、關將軍か』

と、幼兒の手をひいてまろび出て來た。（前掲「大歩す臣道」）



疑いなく、糜夫人すなわち芙蓉こそが正室なのである。前述した芙蓉の経歴を考えれば、彼女こそが正室であるべきだ、というのは当然の判断であろう。

ところが、これが逆転しているエディションが存在する。すなわち、「妻室甘夫人と側室の糜夫人」、すなわち「糜」と「甘」を入れ替わっているのである。管見の限り、少なくとも吉川英治歴史時代文庫に収録される『三国志』（講談社、1989）と新潮文庫版（新潮社、2013）の2種は、そうなっている。

これこそが、タイトルとした「たった1字（正確には2字と言うべきか）」である。しかし、この1字によって、糜夫人すなわち芙蓉は正室の座から転落した、劉備の初恋の人でありながら正室ではなくなってしまったのである。物語の「整合性」はやや損なわれた、と言わざるを得まい。

吉川英治が没したのは1962年だが、その後もその作品は刷を重ねた。筆者の確認した限り、1980年に出版された講談社文庫版『三国志』にあっても、糜夫人は劉備の正室である。前述した吉川英治歴史時代文庫に収録される際に改変されたと思しいが、さほど重要な問題ではない。確認したいのは、この改変が吉川の没後に為されたもの、すなわち吉川自身の意図ではないことである（おそらくは編集者によるものであろう）。

では、何故にこのような小さくて大きい改変が行われたのか。

ここに、大きく影を落とすのは正史『三国志』である。歴史上の三国時代が終焉した直後に編纂されたとされるこの歴史書は、後世広く知られることとなった三国志物語の原点には違いない。

そして、正史『三国志』には糜夫人の伝記はなく、甘夫人の伝記のみが「甘皇后伝」として立てられている。皇后は皇帝の正室を指すのだから、正史の中では甘夫人が（蜀漢の初代皇帝となった）劉備の正室として扱われているわけである。吉川『三国志』の改変は、この正史の構成を意識した編集者が為したものであろう。そこには、「歴史的事実に合致すべき」という（やや偏狭な）意図が看取できないこともない。

よりシビアに言ってしまえば、この改変は全くもって要らぬものであった。正史をキチンと読めば、糜夫人（正史では糜夫人）こそ正室であろうという判断の方が合理的なのである。

正史の糜夫人は糜竺という人物の妹である（吉川『三国志』はこ

の設定を採用しないが）。糜竺は困窮していた劉備に妹を嫁がせ、私財をなげうって助力した。正史『三国志』蜀書・糜竺伝は「（劉備は）これにより勢いを取り戻した（頼此復振）」と記す。そのような恩人の妹を（当時の常識から言って）側室にするわけがないのである。

これに対し、甘皇后伝には、甘夫人が「側室として迎えられた（納以為妾）」こと、そして、「先主（竹内註：劉備を指す）がしばしば正室を失ったため、奥向きのことを取り仕切った（先主數喪嫡室。常攝内事。）」ことが明記されている。

正史において、彼女が皇后扱いとなっているのは、後に劉備の後を継いで皇帝となる劉禅の生母だからである。彼女自身は、息子が皇帝になる姿はおろか、劉備が皇帝に即位する姿さえ見ることはなかった。劉備の皇帝即位10年以上前に死去しているのである。むろん、生前に皇后の地位に就いたことなどない。劉備の正室として扱われた時期があったとしても晩年のごく短い期間に過ぎなかつたであろう。

つまり、糜夫人と甘夫人の2人が同時に存命であれば、歴史上においても糜夫人が正室であったに違いない。件の改変は、ある意味で正史に準拠していた吉川英治の原文をわざわざ改悪してしまったわけである。

吉川英治『三国志』が広く読まれた娯楽作品であったことは疑う餘地がない。しかし、果たしてよく読まれているだろうか。そして、このような事象は他の作品にも数多くあるであろう。逆に言えば、よく知られた作品であっても、読者は常に新しいことを発見できる。

「たった1字」の改変からそんなことを思うのである（了）。

【参考文献】

吉川英治『三国志』（全14冊、大日本雄辯会講談社、1940-1951）

吉川英治『吉川英治歴史時代文庫 三国志』（全8冊、1989年）

「年譜」（吉川英治『三国志（八）』所収、講談社文庫、1981年、pp.374-383）

渡邊義浩「吉川『三国志』の特徴」（吉川英治『三国志（一）桃園の巻』所収、新潮文庫、2013年、pp.467-474）

雑喉潤『三国志と日本人』（講談社現代新書、2002年）

箱崎みどり『愛と欲望の三国志』（講談社現代新書、2019年）

● 大型図書の紹介

全学的な研究高度化を支援するため、専任教員グループにとって研究上必要となる大型図書（500万円未満の高額図書）を学内公募により購入しています。2019年度、2020年度に購入した大型図書は、以下のとおりです。

2019年度購入

- ドイツ刑法学論文叢書（Schriften zum Strafrecht）246点
- 陸心源遺書 静嘉堂文庫所蔵 宋元版（マイクロフィルム版）
ユニット2~3 資料番号 17~32. 宋版の史部 63リール
- 再生可能エネルギーの普及に関する政策的検討のための欧米学術文献コレクション 76点
- Le Monde 1944-1970（マイクロフィルム版）
- 日本近代文学・文化文献コレクション4点
- 宮内庁正倉院事務所所蔵「聖語藏経巻」第五期 乙種写経
第8回配本DVD 4枚、No.130~133
- アメリカ文学関連雑誌コレクション
～Little Magazineを中心に～17点

2020年度購入

- ショーペンハウアー・コレクション
(Collection of Arthur Schopenhauer) 151点
- 陸心源遺書 静嘉堂文庫所蔵 宋元版（マイクロフィルム版）
ユニット4~6 資料番号 33~追補 253. 宋版の史部 86リール
- チャムビィ復刊叢書（韓国の古典と古い教科書）
第2集大韓帝国期（1897~1910）158点
第3集日帝強占期（1910~1945）123点
- カント研究叢書（Kantiana Collection）10点

大宮図書館展観

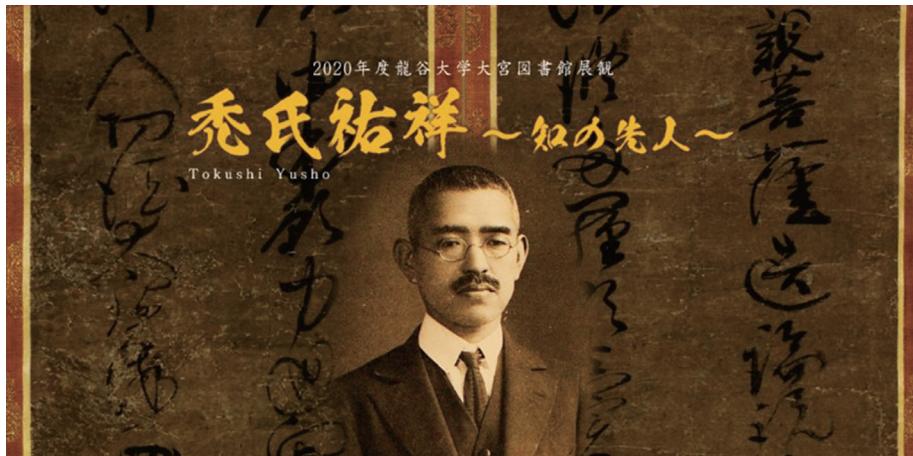
「病と生きる～人の歩みは、病と共に生きてきた歩み～」 開催について

大宮図書館 Web 展観について

大宮図書館では、毎年秋に 10 月 18 日の報恩講を挟んだ約 10 日間の期間、大宮キャンパス本館展示室で展観を開催しています。展観では、それぞれの回でテーマを設定し、普段、利用者の方々が自由に閲覧することができない貴重資料を中心に、展示・公開を行ってきました。見学者は、学内だけにとどまらず学外を含め、多くの方々に关心を持っていただきました。

しかしながら、2020 年度は、新型コロナウイルスの影響により、通常開催は難しいとの結論に至りました。そこで、図書館が運用している貴重資料画像データベース「龍谷蔵」(<http://www.afc ryukoku.ac.jp/kicho/top.html>) を用いて、図書館のホームページ上で画像や動画による Web 展観を企画することになりました。

Web 展観は、展観の歴史の中で初めての挑戦でしたが、テーマは、「禿氏祐祥～知の先人～」として、本学名誉教授であった禿氏祐祥先生の没後 60 年を記念して、先生の旧蔵書であり、現在大宮図書館の蔵書となっている「禿氏文庫」の中から、『正信念仏偈』(延徳 3 年 (1491) 写) や「無垢淨光陀羅尼並塔」など数多くの貴重な資料を Web 上で公開しました。



2020 年度大宮図書館展観（Web 展観）「禿氏祐祥～知の先人～」

トップページ (https://mylibrary.ryukoku.ac.jp/iwjs0005opc/htdocs/2020_tokushibunko_prod/index.html)

2021年度展観「病と生きる～人の歩みは、病と共に生きてきた歩み～」について

Web 展観は、貴重資料を直接見ることはできませんが、興味を持たれた資料については、展示箇所だけでなく、全てのページが Web 上で閲覧できるといったメリットがあります。また、開催期間や時間帯を気にせずに、好きな時に好きなだけ見ることが可能です。

このことにより、通常の展観よりも長い期間、多くの方に Web 展観をご覧いただきました。また、展観資料の利用に関する問い合わせなどもいただき、非常に意義のある Web 展観となりました。 2021 年度も昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響下での展観開催となりました。開催形式も引き続き Web 展観として実施する予定です。

展観テーマは、「病と生きる～人の歩みは、病と共に生きてきた歩み～」です。日本では、2020 年の初めから新型コロナウイルスの流行により、我々の生活は大きく変わりました。新型

コロナウイルスは未だ終息せず、流行している中で、マスクの着用などの制限を受けて日々の生活を続けています。

歴史を振り返ると、仏教では病を「四苦」の1つとしているように、人が避けることのできない苦しみとしています。その病について、人々は、信仰により救われることを求めたり、疫病の悲惨さを記録して後世に残したり、病について立ち向かい、治療法を研究したり、時には、病を文学の中に取り込み、より多くの人々を共感させたりしています。これまでの人の歩みは、病と共に生きてきた歩みと言っても過言ではありません。

今回の展観では、病に対する人々のこれまでの歩み「病と信仰」、「病と記録」、「病と文学」、「病と治療」の4章により紹介していきたいと思います。そして、各章では、図書館が所蔵する資料中から関連する資料を選んで展示を行います。



(展示予定資料『融通念佛縁起絵』念仏の道場に押し掛ける疫病（悪鬼）たちに、多くの人々が念仏して署名しているので帰れと談判している場面。)

Web展示は昨年度と同様に図書館HP上 (<https://library.ryukoku.ac.jp/>) で案内させていただく予定です。この機会に是非ご覧ください。

●図書館Webサイトが新しくなりました

5年ぶりの図書館システムリプレイスの一環で、図書館Webサイトが新しくなりました。大きなポイントは2つです。

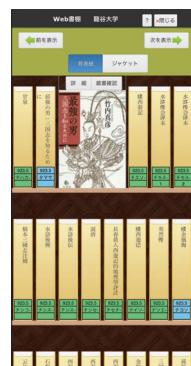
1. ホームページ（トップ頁）のデザイン変更

従来よりシンプルなUser Interfaceに変更して、直感的に必要な資料にたどりつけるよう改善をはかりました。スマートフォンや小型タブレットでも見やすいページになりました。



2. バーチャル書架

あたかも書架（本棚）で本を選んでいるかのような、バーチャル書架を導入しました。さらに、キャンパスの違う図書館にある資料も並べてブラウジングできるようにしています。



英語多読学習

瀬田キャンパスで開講している英語の一部のクラスでは「多読学習」が展開されています。これは龍谷IP (Ryukoku Inventive Program) 「英語力の向上を目指す多読指導」による取り組みとして、2018年度から始まりました。皆さんは「多読学習」という言葉を聞いたことがありますか。

ひと昔ふた昔前の時代の英語の勉強方法といえば、判らない単語が出てきたら辞書を引いて意味を確認し、文法を押さえて1語ずつ丁寧に読み進める、いわゆる「精読」、これが定番でした。しかし中学3年間と高校3年間、合計6年間も勉強しているのに、残念ながら英語が出来るようになったという方はほとんどいなかったのです。精読に疲れ果て、途中で燃え尽きてしまったのでしょうか。

中学校1年生で初めて使った英語の教科書の薄さを覚えていましたか。教科書によって差はありますが、掲載されている語数は約1,200語だそうです。中高6年間の教科書に掲載されている語数を合計してもたった3万語。3万語といえば文庫本1冊の語数でしかありません。6年間もかけて文庫本1冊しか読んでいないのでは、英語が出来るのはむしろ当然と言えるでしょう。英語が一定出来るようになるには100万語を読むことが必要だと言われています。全く不足しています。



そこで注目されているのが「多読学習」です。読んで字のごとく、兎に角たくさん読むという勉強方法です。具体的には以下の「多読3原則」という鉄則があります。

①辞書は引かない

判らない単語が出てきても、いちいち辞書は引かない。前後の文脈から判断して読み進める。辞書を引いていると読むスピードが落ち、リズムが崩れます。これは頭の中で日本語に訳さず、英語を英語のまま理解するということもあります。

②判らない個所を気にしない

辞書を使わないのですから、判らない個所は当然出でます

す。日本語の本でも100%完璧に理解して読んでいるのではないでしょう。たくさんの英語に接することが目的なのですから、そこそこの理解で十分です。

③面白くなれば止める（他の本を読む）

面白くない本や判らない個所が多すぎる本は最後まで読み進める必要はありません。さっさと止めて、もっと面白い本、もっと易しい本にチェンジしてください。面白くないことは長続きしません。

この学習方法が非常に効果的だということが学会等で発表され、日本中の中学、高校、大学で導入が進んでいます。図書館でも20年以上前から英語多読学習用の本をたくさん購入しています。瀬田図書館では本館B1階と新館2階、深草図書館では和顔館2階、大宮図書館では積層3層に、合計約3,800種類の英語多読学習用の本が配架されています。CDが付いている本を借りれば、リスニング能力向上にも効果的でしょう。もちろん英語多読授業を受けていない方にも貸出しています。最初は絵本のような、1~2分で読み終えられる本から始めて、段階的にレベルを上げていってください。さんは高校までの勉強で英文法の基礎は出来ているはずです。「多読3原則」に沿って分速100語で読んだ場合、1日30分間の読書を継続すれば100日で30万語、30万語を超えると効果が実感できるといわれています。そして1年で100万語に達します。1年後の自分の成長を楽しみに、「多読学習」を是非始めてみましょう。

英語多読学習用の蔵書は下記の手順で検索できます。図書館のOPAC簡易検索で、「タグを含む」にチェックを入れて、検索窓に「英語多読教材」と入力して検索ボタンを押すだけです。

英語多読用の電子ブックも約600種類提供しています。

The screenshot shows the Ryukoku University Library's OPAC search interface. The search bar contains the query '英語多読教材'. Above the search bar, there are several tabs: '蔵書検索' (selected), '電子ジャーナル', 'まとめて検索', 'データベース一覧', '論文検索', and '学内学術成果'. Below the search bar, there are buttons for '簡単検索' (Simple Search), '詳細検索' (Advanced Search), and 'タグを含む' (Contain Tag). To the right of the search bar, there is a link '検索のコツ?' (Search Tips?) and a search button with a magnifying glass icon.

VPN接続で自宅からでもアクセスできます。VPN接続は、図書館HP→資料を探す→データベース一覧に説明があります。判らない方は遠慮なく図書館のカウンターまで。